

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	75%	25%			
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%				
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	75%				
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画Ⅱが作成されているか	100%				
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	75%				
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	75%				
	⑧ 活動プログラムⅢが固定化しないように工夫されているか	100%				
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			25%	50%	
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%				
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等Ⅳ）が行われているか		50%		25%	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	50%				
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				
	⑮ 父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		50%	50%		
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%				
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25%	50%		25%	
非常時等の対応	⑲ 個人情報の取扱いについて十分注意されているか	100%				
	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	75%			25%	
満足度	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		25%		75%	
	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	100%				
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	100%				

	No.	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		
	2	職員の配置数は適切であるか	100%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%		支援終了後の清掃は、必ず行い除菌洗浄も行っている。支援中には、室内除菌噴霧器を、作動させており環境にも、配慮を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		100%	保護者向け評価表の結果を踏まえ、質の評価・改善への取り組みは行っているが、内容に関する会報やホームページでの公開を行っていない。 31年度より、ホームページでの情報公開を行うよう改善を進めている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%	第三者による外部評価を実施していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	66.70%	33.30%	職員会議 等において、資質向上に向けた検討や周知はなされているが、外部研修 等への参加が、あまりなされていない
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	100%		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	66.70%	33.30%	活動プログラムにおいて、個別活動・集団活動の組み合わせを行っているが、児童発達支援計画としての全体の、落とし込みは行っていない。 今後、全体の支援計画の落とし込みも、実施していく。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			

No.	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		
20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%		
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		100%	関係者・関係機関との直接的連携は行っていない。必要と認められた場合においては、相談支援事業所に確認を行っている。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100%		必要な関係機関との連携は行っている。また、必要と感じた場合には、相談支援事業所を通じて、必要な調整事項等を行って頂くよう努めている。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100%		
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		100%	関係機関との、直接的関わりは行っていない。相談支援事業所を通じての、情報共有手段を用いている。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		100%	関係機関との、直接的関わりは行っていない。相談支援事業所を通じての、情報共有手段を用いている。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		100%	関係機関との、直接的関わりは行っていない。相談支援事業所を通じての、情報共有手段を用いている。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		100%	戸外活動を通じ、交流が持てる場を考慮しているが、一緒に活動するような交流は行っていない。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		100%	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		100%	ペアレント・トレーニングは実施していないが、様々な相談・対応に対しての助言等は、随時行っている。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		100%	父母の会および保護者会においては、結成・設置していない

	No.	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		100%	定期的な会報の発行は行っていない。今後は、ホームページ運用において、発信を行っていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしているか	100%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		100%	地域住民を招く、行事の開催を行っていない。今後は、法人としての行事を企画し、開かれた事業運営を行っていく。
非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		ヒヤリハット等においては、ミーティング時にも周知している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		法人内において、事故・虐待防止検討委員会を設置し、意識向上を図っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		100%	31年度に向け、強度行動障害支援に基づいた、支援計画書の作成を、検討している。

- この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。  
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

討議実施日：平成31年2月24日午前（村田） 2月25日昼頃（波佐間・笠原）

実施場所：デイサービスALOHAキッズ

参加職員：ALOHAキッズ職員 笠原 村田 波佐間 療育担当 小松

実施内容：評価表について職員それぞれに聞き取りを行いました。

保護者向け集計結果を再度認識し、改善策の検討を行いました。

【評価表に対するコメント】

保護者向けアンケートにより、「定期的に会報やホームページで活動の概要などが発信されていない」がわからないを含めほぼ全員の皆さんが感じられており、又、事業所としても様々な活動を行っているが、それを発信できていないことが今後の課題の一つであると捉えています。平成31年度の改善目標として法人のホームページの開設と定期的な情報発信を行い、ALOHAキッズの児童発達支援の支援内容を知っていただくこととします。

作成者：療育管理責任者 小松 幹